

年齢	性別	病状	結果
20	女	線維筋痛症	3回目、改善
18	女	線維筋痛症	6回目、改善
60	男	メニエール	改善
46	男	突発性難聴	3回目で完治
54	男	ストレスによる嘔気嘔吐	完治
45	男	うつ病	改善
50	女	うつ病	改善
39	男	不安神経症	改善
45	男	不安神経症	改善
15	男	乗り物酔い	完治
7	男	乗り物酔い	完治
40	男	無嗅覚症	改善
50	女	聴神経腫瘍・難聴	聴力改善
58	女	聴神経腫瘍術後三叉神経痛	改善
70	女	乳がんⅣ・胸水	呼吸困難改善
57	男	肝硬変	体力改善（半年後も元気）
52	女	頭痛	完治
17	女	頭痛	完治
35	女	頭痛	完治
30	男	背・肩・頸部痛	改善
57	男	背・肩・頸部痛	改善
60	女	背・肩・頸部痛	完治
30	男	腰痛	改善
82	女	腰痛	改善
35	男	腰痛	不変
41	女	アトピー	改善
60	男	ガン性心膜炎	一時的に改善。6カ月後に死亡
56	女	頸椎症・両手の痛み	2回するも不変

私は、多くの病院で、救急・集中治療、外科、内科、手術部等、臨床医として働いて、経験を重ねてきました。また、分子生物学という臨床以外の仕事にも携わりました。現在は、東大医学部附属病院救急部・集中治療部長を務める傍ら、医学部で救急医学分野教授としての仕事をしています。救急医療の中で、避けて通れない終末期（死期の迫った患者さん）を苦しませることなく穏やかな状態で見送るための緩和医療など、人の死と向き合ってきました。

本書の著者、北沢勇人さんは、エネルギー・ヒーリングの範疇に入る「天啓気療」という手かざしの施術を行なう人です。一年半前に北沢さんが私を訪ねてくださり、その施術活動を知るところとなりました。北沢さんは、良心に従って、真摯に、様々な困難な症状の改善に取り組んでいます。そのような北沢さんについてまずはっきりいえることは、うそ偽りのない、十分に信頼をおける人だということです。

北沢さんはカルテをつくっていないので、その二十年に及ぶ施術活動の内容について正確に

北沢勇人さんのこと

分析し、客観的な評価をすることはできません。西洋医療に携わる者として客観的な数字がないのは残念な気がします。しかし、私が施術をお願いした人たちを含めて私が直接同席して見ていた約三十人については、たいへん興味深い結果を示しています（表参照——評価はその場でわかるものはその場で、観察期間の必要なものはその後に判断した）。しかも北沢先生は私にも同様の力があることを気づかせてくれました。私は、自分の病院ではこの施術をしません、北沢先生のお手伝いをしたことで、患者さんへの施術中に自分の手

の平に感じる反応から患者さんへのエネルギーの入り方・伝わり方を感じ取れるようになります。そして自分の手応えからその後の変化の予想がいくらかできるようになりました。このように、このエネルギーは実体のあるものです。

西洋医療に携わっている者としていわせていただくと、残念ながら治らない患者さん、あるいは西洋医療に馴染まない患者さんは確かにいます。そうした患者さんが一縷の望みを託して、北沢さんのところを訪れてきます。そして北沢さんは、そのどうしようもない状況を改善させ、快方に向かわせようと必死に努力している、ということ、ここで申し上げておきましょう。

誤解のないように申し上げますが、現代社会の中では、西洋医療の「治」と、その他の施術による「癒」との順序を間違えないようにすることが大切です。「治療」であり「癒治」ではないのです。一般の人は、まずは目に見えるものを対象として診断、治療していく西洋医療の評価を受けてから、必要に応じて、ご自分の判断で、その他の施術を受けられるのもよいでしょう。さらにいえば、患者さんご自身の身体を元の状態に戻すこのようなエネルギー・ヒーリングに興味を持たれるならば是非、なぜ病気になるのか、病気のメッセージから何か気づかれることを願います。ひょっとしてご自分が思い当たる不摂生であったり、ストレスを解消し切れなかったり、過度に仕事に入れ込んでいたり、といったようなことがあるかもしれません。病

気はあなたへの警告です。

この本の後半は、北沢先生がこのようなエネルギー・ヒーリングの能力を得るまでの不思議な体験が書かれていて、一般の方にはなかなか難しいかもしれません。しかし、チャクラ覚醒とクンダリーニ上昇をここまでリアルに書いたものを私は知りません。そういう意味でたいへん貴重なものだと思います。なお、このエネルギー・ヒーリングの能力はまさに天啓に相応しく、どうして授かったか私たちにはわかりません。またこの能力は、あるとき突然あるいはだんだんと減退する場合も報告されています。施術者の心がけが影響するともいわれています。そういう意味で、真心のもとに今与えられている力でもって相手とつながるよう日々心がけていくことが大切なのだと思います。

この本で読者の皆様に、人間がエネルギー・ヒーリングに反応する、つまり身体が単なる物体であるだけではなく、ヴァイブレーションを持つエネルギー体でもあることに想いをはせ、そのさらなる可能性に気づいていただけるのではないかと期待しています。

二〇一三年四月

矢作直樹

この書籍を出版するには、多少の迷いがありました。現代は科学万能の時代であり、目に見えないものに対して理解を求めようとする抵抗が生じるからです。しかも、日本の医療は西洋医学が中心であり、手かざしによる治療法などを理解していただけるかどうかが不安でありませんでした。その理由は、私の行なっている治療の方法が手をかざす方法のため、宗教と混同している方が多いからです。

さらに、過去には、一部の新興宗教団体が起こした様々な事件が存在し、いくら私の授かった能力は素晴らしいと真剣に訴えたところで、皆様方の記憶の中にあるそれらの事件と重なり合うことが考えられます。しかし私の能力は、他の治療方法とは異なり、比較のできないほど素晴らしいものであることを皆様に納得していただき、お役に立ちたいと心の底から願ひ、たとえ誤解が生じようとも、この書籍を公開することにいたしました。

ところで、私が開いている「天啓気療院」に現在お越しになっている方々の大半は、以前に

天啓気療によって症状が改善した方々からのクチコミによっていらした方によって占められています。しかし、そのようなお知り合いのない方々の場合は、数多くのホームページやブログなどから情報を探し出し、当院にたどり着くしか方法がありません。そこで、書籍によって世間に間いかけることにより、この治療法の素晴らしさを多くの方々に知っていただくことを考え、本書を書いた次第です。

私の身に起こった数々の不思議な出来事は、実際に同じような体験をした方なら理解できると思いますが、一般の方々が理解するには多少の無理があると考えられます。しかも、数々の体験や心の変化は、数年間という長期にわたったため、体験の量自体が膨大にあるのです。

この書籍内には、その膨大な体験内容のほんの数パーセントしか書き記すことができませんでした。それこそ、実際に体験した私でさえどのように表現をし、書き記したらよいのか見当もつかないほど数々の不思議な体験があったのです。

それでも私としては、私自身が体験した膨大な内容をまったく書き記さないのでは、理解や納得などしていただけないのではないかと考えたのです。そこで、重要と思われる部分の一部のみではありますが、書き記すことにしたのです。

本書の内容は、自分でも哲学的になり過ぎていると感じる部分が多々あります。たとえば、

心のあり方や意識のあり方、自然の法則に即した愛など、考えてみればこのような事柄は、病気や仕事などにはまったく関係がないように感じられます。ところが、私が治療を実施していく中で、この事柄が最も大事であると考えなければ納得や理解ができないこともまた事実です。本文中には、病気の名称や劇的な改善例が数多く記述されています。しかし、著者である私は、手かざしによる治療を実施していますが、医師でも、薬剤師でもないことを前もって知っていただき、その上で読み進めていただきたいと思います。

私は以前、建築士として、建築物の図面を作成したり、工事の管理をしたりすることが仕事であり、手かざしによる治療などまったく縁のない生活をしておりました。そのため、目に見えないものを信じることや理解することなどほとんどありませんでした。

そのような私に、平成五年春頃から、常識では考えられないような不思議な現象が次々に襲いかかってきたのです。どのようなことかと申しますと、夜遅く寝ようとして床につき、電灯を消してから数分が経過した頃、目を閉じた状態でありながらも驚くほど強く輝く光を見たり、その光が身体めがけて一気に入ってきたり、身体全体が光に包まれたようになるなどの現象です。その他にも、自分自身の意識が肉体より離脱して光の塊に溶け込み一体になったように見えたり感じたりする体験、さらには、想像を絶する恐怖体験なども長期間にわたりました。

このような不思議な体験がはじまると、その数日後からは、手や足はもちろん、全身至るところに微弱な、時には強烈な電気でも流れているかのように、さらには、身体全体の細胞がむくむくとうごめくような、極端に活動するような、さわさわと感じるような、それこそ何とも不思議な感覚で表現に困るようなことが眠っているとき以外、いつでも感じるようになったのです。それから、心を落ち着かせてリラックスすると、私の身体内部からはもちろん、外部からも、それこそ頻繁に不思議な音や声などが聞こえるようになってきたのです。

また、自分の身体から意識が抜け出て二人分の意識を持つ臨死体験のようなこともあり、そのときには、身体から抜け出たと思われる意識のほうでは、様々な建物、山、川、海などの景色がきらきらと光り輝いている状態を見たり、神様の世界といえるような、死後の世界といえはいえるような大変不思議な映像を見たり、感じたりしたのです。その他にも、たとえることもできないほどの高速で自分自身の意識が飛んでいくのが見えたり、感じたりもしていたのです。

一方、自分の身体に残ったと思われる意識のほうでは、横になって寝ている自分や瞑想中の自分を見たり、感じたりしていたのです。

当初私は、自分の身体が、まったく想像もつかないほど異常な状態になったのかとの疑いを

持たずにはいられませんでした。それでも私はその後、頭の片隅では自分でも信じられないと思いつつも、様々な病気や痛み、精神的なことなどで悩んでいる方々に対して手かざしによる治療を実施しておりました。そして、私が手をかざすことにより病気や痛み、悩みなどから解放されていく方々の姿を見ているうちに、次第に、自分の中で疑う余地がなくなってきたのです。

チャクラが覚醒したりクンダリーニが上昇したりすると、言葉では言い尽くせないほどの素晴らしい体験をすることや特殊能力が出てくることなどは多くの書籍に書き記されています。しかし、実際にチャクラが覚醒するときやクンダリーニが上昇するときには、素晴らしいことその他に恐怖体験や辛いことなどもあり、肉体的にはもちろんのこと、精神的、意識的にも想像もできないほどの劇的な変化が生じます。そのときの実に想像を絶するほどの恐怖感や辛い体験などについて書き記した書籍は、ないといってもよいように感じます。

ところで、私のところへ来院する方々から様々な情報が舞い込んできますので、よくよく検討はしているのですが、私が体験したような現象の内容について書き記した書籍などは、現在であっても見つかりません。その他、そもそも病気とは何であるかなどを書き記した書籍なども、やはり見つからないように感じます。さらに、病気の原因や、万が一病気になってしまっ

たのならどのように意識を変えたらよいのか、どのような行動をしたら改善し易くなるかなどを詳しく説明した書籍なども、見当たらないように感じます。

だからこそ私は、今後私と同じような経験や体験をするであろう、呼吸法や瞑想などの修行をしている方々のためにも、さらには、様々な治療方法を試しはしたが一向に改善せず、病気や痛みなどに悩み改善を待ち望んでいる方々のためにも、スポーツなどに関心を持っている方々のためにも、文章が下手であっても、私の体験と考えを伝える必要があるのではないかと思います。一気に書き上げたのです。

この書籍の中に書かれたことは本当に珍しく、多くの書籍などで表現されているようなものの受け売りではなく、私自身が実際に体験したことのみであるため、理解や納得に苦しむかも知れません。しかし、記載されている内容はことごとく、私が実際に体験をし、そして、冷静になって理解したことを忠実に、感じたままに表現したものです。

その中でもとくに、チャクラの覚醒やクンダリーニが上昇する際、身体や精神に現われた様々な変化は、物理的次元から精神的次元に移行するためには避けて通れない現象なのです。そしてそれは、肉体的状態や意識の状態が急激に変化するため、素晴らしいことばかりではないのです。思いもよらないほど激しく、恐ろしく、苦しく、驚くようなことも現実には数多く起こ

ります。そこで皆様方にも、チャクラの覚醒やクンダリニーの上昇時に体験する変化などについて理解をしていただくとともに、知識として覚えていてほしいとも思い、重要と思える点のみではありますが、書き記しましたので、参考にして頂ければ幸いです。

なお、最近、チャクラの覚醒やクンダリニーの上昇が容易にできるとして、セミナーなどが盛んに開催されています。しかし、ここで注意をしていただきたいのは、クンダリニーが少しでも活動がはじまった場合には、私の体験から考えても、よほどの覚悟がないと耐えられないような状況に追い込まれることがあるということです。よってチャクラの覚醒やクンダリニーの上昇をめざすなら、十分なる準備と計画を立ててからはじめることをお勧めいたします。

二〇一三年四月

北沢勇人

目次

北沢勇人さんのこと——矢作直樹	2
-----------------	---

まえがき	6
------	---

I 天啓気療の能力とは、病気とは	21
------------------	----

天啓気療とは	22
なぜ天啓気療の能力が	22
天啓気療の注目すべき点	24
対人関係の調和、学習能力の向上、運動能力の向上などにも有効	31
天啓気療時どのように感じるのか	33
不思議な体験のはじまり	37
治療の能力があるといわれて	40
私の使命及び治療の方法について	41
チャクラが覚醒しクンダリーニが上昇した人の治療と、氣功による治療	42

天啓気療の遠隔について	44
病気とはどのようなものか	45
病気の原因は、大きく分けて三種類	46
医学や薬はあくまで補助的、改善させることはできない	53
天啓気療を実施した場合、改善し易い方	55
天啓気療を実施しても改善しにくい方	58
改善し易い方と改善しにくい方の違い	60
天啓気療を実施しても著しく改善しにくい方	62
因果応報や業などと述べられるもの	66
輪廻転生について	69
天啓気療を実施しても、残念に終わる方	70
私の病気体験から	70
改善し易い方になるためには	74
天啓気療を受ける間隔について	93

好転反応と思われる現象について	94
-----------------	----

Ⅱ O・リングテストの利用法とは	101
------------------	-----

O・リングテストについて	102
相性もわかるO・リングテスト	103
O・リングテストの応用	108
能力者を確実に見分ける方法	109

Ⅲ 寄せられた体験談	111
------------	-----

「恐怖を覚える痛みからの解放」	112
「乗り物酔いや突発性難聴が改善。空に浮かぶ雲に感動」	114
「登校拒否を克服。成績もアップ」	116
「身体が楽になり、運命も向上」	118

「家族の理解と協力によって苦しみから解放され、就職も決まった」	121
「病気が気にならなくなったことが、とても嬉しい」	123
「天啓気療の後で検査を受けたら、信じられない結果が」	125
「手術目前、検査したMRIの画像から腫瘍が消えた」	126
「脳梗塞による右半身麻痺が、今では以前と変わらない生活に」	132
「三回の天啓気療で、車椅子の生活にさようなら」	134
「自分の力で起き上がることでできなかったのが、自由に動けるように」	138
「二十年以上悩まされてきた坐骨神経痛が癒え、仕事も順調に」	139
「三十年来の腰痛の改善だけでなく、心が安定して寛容になった」	140
「ムチ打ち症の後遺症が改善。仕事も人生も好転した」	144
「得体の知れぬ病気との闘い」	146
「激しい好転反応を経て改善。人前でも半袖になれた」	148
「興味本位で死者を侮辱した日からはしまった苦しみから解放された」	150

IV チャクラの覚醒及びクンダリニーの上昇について

チャクラとは	155
チャクラの覚醒とは	158
チャクラが覚醒すると、どのような能力が発揮されるのか	159
クンダリニーの上昇とは	161
各チャクラの位置	165
各チャクラの働き	166

V 私が体験したチャクラの覚醒とクンダリニーの上昇について

各チャクラの覚醒	189
光が見え出す	190
幽体離脱がはじまる	213
幽体離脱が始まる	214
医学者が語る幽体離脱	219
いろいろな音が聞こえる	221
神様からの声と思われる声が聞こえ出す	222
身体が光り出す	223
過去の世界と思える現象が見える	224
死後の世界や極楽浄土の世界と思える現象が見える	227
喉の奥や腹の奥から変な声が	232
身体が勝手に動き出す	233
想像を絶する恐怖体験及び食事がまったくとれなくなる	235
チャクラの覚醒時やクンダリニーの上昇時、なぜ、心身的苦痛も体験するか	242
自我意識とは次のように述べられている	247
神様は絶対にいると真剣に信じる、そしてクンダリニーが上昇	249
神様に直接会って和合したような感覚になる	250
すべてが神様からの贈り物と自覚、そして嬉しくて涙が	252
神様とは、愛とは、宇宙とは、自然とは	254
自律訓練法について	256

呼吸法や瞑想を実施するときの注意及び意識のあり方	260
私の現在の状況	265
私からのことば	267
あとがき	270
参考文献	274

I 天啓気療の能力とは、病氣とは

【天啓気療とは】

平成五年春頃からはじまった多種多様な不思議な体験の末、私は、手をかざすことにより病気の治療や癒しができるようになりました。しかし、私が実施する治療法と似たような民間療法には多種多様な治療法があります。たとえば中国式気功とか、何々式整体、催眠療法、レイキ治療などがあります。そこで、私の治療法と他のそれらの治療法との違いを明確にするために考えた結果、私の発揮する能力は天から与えられ、啓示された、との意味をこめ、「天啓気療」と命名し、使用するようになったのです。

【なぜ天啓気療の能力が】

当時私は一級建築士や一級建築施工管理技師として、建築工事や設計管理などの仕事をしていました。しかし、能力が不足していたこともあり、経営状態が思わしくなく悩んでいたのです。そんなときたまたま、「脳波の一種であるアルファ波の出ている状態で願望が達成しているところをイメージすると、本当に達成する」との情報を得たので、アルファ波を出すために

有効とされていた呼吸法や瞑想などを長期間にわたり続けるようになったのです。

すると、平成五年春頃、夜遅く床につき、電灯を消して目を閉じてから数分が経過した頃に、私自身が非常に明るく輝く様々な光に包まれる体験をしたのです。以後、私の身体の内部分から、外部からも、頻繁に不思議な音や声が聞こえたり、光や幻想的な映像が見えたり感じたりするようになってきて、ついには、病気を改善させたり、癒したりすることができるようになったのです。ちなみに不思議な体験がはじまった当初私が見た光とは、色のついたセロハン紙を通して太陽を直接見たぐらい強力な光であり、その際、真っ暗であつてもそのように見えるというか、感じるのですから大変でした。

その頃の私は、片手間に健康食品の販売もしていたのですが、その健康食品の説明会において、これまでに一度も会ったことのない方から、「あなたはチャクラが覚醒し、クンダリーニが上昇していて、超能力者になっている。エネルギーを自由に扱い、病気を改善させたり、心を鎮めたり、落ち着かせたりすることができる」といきなりいわれたのです。しかしそのときの私にはチャクラとかクンダリーニの知識などまったくなく、この方は何を根拠に話しかけているのかもわかりませんでした。私の外見が変わっているわけでもないし、意識的にも、肉体的にも、まったくそのような自覚もない頃の話ですから、信じることができずにいたのです。「そ

のようなわけのわからないことがあるはずはない」と、何度も否定したことを思い出します。私は、医師でもなく薬剤師でもありません。よって、病氣の種類や薬などの知識はないに等しいといってもよいのです。しかし、現在の私は、その方がいったように、確かに手をかざすだけで、皆様の病氣や悩みごとを癒すことができています。

また最近では、なぜ判断できるのかが自分でも不思議なのですが、病氣になった原因や、どの部分に異常があるのかなども判別できるようになってきています。手をかざすと手の平に、その人の肉体的な異常や精神的な異常を感じるのです。

【天啓気療の注目すべき点】

病氣などの回復と同時に、思いもよらないほど素晴らしい不思議な現象が現われるのが、天啓気療の特徴の一つです。仕事上においても、他の方々との様々な付き合いなどにおいても、信じられないような現象が起きたり、良き縁が生じたりすることがあります。まことに不思議なことですが、現実として多く生ずるものです。よって私の能力は、考えれば考えるほどわからなくなるのもまた事実です。さらには運動能力の向上や精神的安定などにも役立ちます。さ

らに付け加えれば、肉体的にも、精神的な事柄に対しても、耐久力がつくといったらよいのか、持久力がつくといったらよいのか、とにかく良き現象が現われてきます。対人関係の調和、運命の向上、学習能力の向上や記憶力の向上など、表現上は運が向上するといったともよいと思いますが、とにかくあらゆる事柄がスムーズに運ぶようになります。

天啓気療を実施するとともに、対人恐怖症、パニック症、うつ症、解離性同一性障害、線維筋痛症などが顕著に改善するのですが、その状況を考えてみると、天啓気療の特徴は、精神的ストレスからの解放を促し、精神を正常な状態に導くということにもあるように感じます。だからこそ、それらの症状がよく改善するのです。確かに学習能力や記憶力の向上、運動能力の向上なども起こってくるのですが、それも、精神的及び肉体的に安定してくるからこそ成し得ることなのです。

このように、天啓気療によって病氣の改善はもちろん、お客様が抱えていた様々な問題が改善するということは、お客様が私の出しているエネルギーの影響を受けているということであり、私が長い間修行として実施してきた呼吸法や瞑想は、様々な問題を解決する能力を身につけるために極めて有効なものだと、私は理解をしています。

ところで私は、私のところを訪れる方々に対して、「実は、病氣が改善することや癒される

ことより大事なことがある。病気の原因は多くの場合、ストレスであると理解され受け止められている。だからストレスが少なくなりゆとりが生じてくると、心が安定し、身体に対して悪影響を与えなくなり、病気などにはならないことはもちろん、たとえ病気になったとしても、自然治癒力によって、放っておいても自然に改善する。たとえ恐ろしい難病であっても、ストレスがなくなれば、良い結果となる」と述べることにしています。しかし、そうすると、「そんなものなのかなあ」と疑問を持っているような返事をする方が意外に多いので、非常に残念に思っております。そこで、ストレスからの解放に役立つ天啓気療とはいかなるものなのかを、次に示してみたいと思います。

①天啓気療を受けるとどのようなことがあるのか

第一、天啓気療を受けると、身体力が抜けてリラックスし倦怠感を感じ、異常というほど眠くなります。この現象はまさしく、精神的にも、肉体的にも緊張がほぐれてきたことを物語るものです。したがって、精神状態や身体が癒されたことになります。

第二、身体力が抜けてリラックスすることにより、それまでは感じ取れなかった体内を流れる血液やエネルギーの状態、気の流れなどがいつでも感じ取れるようになり、コントロール

することもできるようになります。身体全体に気が回れば、態度や心にも余裕が出て、「あなただけよく気が回る方ですね」といわれるようになります。もちろん、そうなることで自身自身の悩んでいる事柄や、どの部分に障害があるかなども冷静に判断ができるようになります。第三、身体の緊張がほぐれたことにより、肉体はもちろん、精神までも癒され、病気や悩みごとなどが改善してくると同時に、心にも余裕が出てくるため、今日まで悩まされていた争いごとなどが解決してきます。さらには、思いもよらぬ人からの引き立てや、縁などが生じたりすることもあります。誰であっても経験があると思いますが、自分のそばにいる方が何となく落ち着いているときには、自分もまた落ち着き、安心できるものです。したがって争いごとが起これなくなり、「この人なら信用できる」と引き立てを受けたりするものと考えられます。

第四、天啓気療を受けたことによって、自分自身でも心のあり方や感情が変化したことを感じ、気づくのですが、周りの方々から、「あなた、最近何か良いことがあったの。今までとは何となく違っているよ。明るくなったもの」といわれ、本人が気づかないことであっても、周りの方が気づくことが多いのです。自分以外の人のこと、とくにその人の感情や身体の変化に気づいたとき、それを指摘することをためらう方は多いはずですが、しかしその変化が、良き状態に変わったというのなら、それは別で、ほめたりほめられたりすることは、相手も自分

Ⅲ 寄せられた体験談

本章に、天啓気療で病気を改善させた方たちの体験談を紹介しておきたいと思います。

病気の原因は個々人により様々です。たとえば生活環境や遺伝、性格や心のあり方、ストレス、因縁と称されるもの、因果応報や業（カルマ）と称されるものなど、あげればきりがありません。よって、私が授かった能力をもってしても改善の仕方には差が出てきます。要するに、すべての方に対して、次に紹介する体験談のような改善を保証しているわけではなく、何度も繰り返し返すようですが、改善し易い方、改善しにくい方があり、個人差があります。中には「私はまったく改善していない」と述べる方もごく少数、二から三％程度ですが存在します。そのことをご承知の上で、体験談をお役立ていただければ幸いです。

「恐怖を感じる痛みからの解放」

（線維筋痛症による激痛・五十代女性）

まずは、五十代の女性から頂いたお手紙を紹介させていただきます。

「天啓気療院 北沢先生へ」

いつも大変お世話になっております。私の体験談を書かせていただきたくお手紙を書かせていただきます。

昨年六月頃より目の激痛、首の後ろの付け根あたりの強烈な痛みからはじまり、十月には突然首と肩の強烈な痛み、猛烈な吐き気、背骨の痛み、全身のしびれ、血圧が高くなり、呼吸も浅くなり、その症状が毎日続くようになり、どこかの大病院に行って検査をしてみても「異常なし」「原因不明」といわれてしまい、やっと最後の病院で線維筋痛症であるとの診断を受けました。

薬を飲んでも良くなるどころかますます痛みが増して悪化し、毎日痛くて痛くて一時間も眠れない、しかも、夜中に何度も起きる日が続いたため死ぬことばかりを考え、やっとの思いで暮らしていました。さらに、熟睡ができなかったからだと思うのですが、体重は一年で十四キロも落ちてしまい、だるくて何もできない状態でした。

そのとき、いろいろ調べていると、北沢先生のサイトを見つけ、ワラをも掴む思いで先生の治療院に電話をし、その日の午後に天啓気療をしていただいたところ、初回から肩の激しい痛みが、あんなに毎日続いて辛かった痛みが、軽くなってきたのです。

天啓気療の回数を重ねることにあの激しい痛みは無くなり、食欲も出て、毎日あった吐き気もなくなり大変感謝しております。また高血圧、目の痛みなども安定し、びっくりするくらい

今は元気になったことができました。さらに嬉しいことに、安い化粧品を使っているにもかかわらず、『綺麗になったね』『若いね』などと最近ほめられることが多くなりました。凄いです。

そんな元気な今の私に、一年前からはじまった原因不明の激痛があったことはなかなか信じてももらえないのですが、これが事実です。様々な激痛から解放されたこともまた事実です。原因不明の病氣などで悩んでいる方、とくに、線維筋痛症で悩んでいる方は先生の絶大なるパワーを信じて天啓気療を受けていただきたいものと思い、ペンを執りました。

決してあきらめないでください。先生は本物のパワーの持ち主です。先生、本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします」

【乗り物酔いや突発性難聴が改善。空に浮かぶ雲に感動】

(ストレス・五十代女性・会社社長)

次に紹介させていただくのは、会社社長の女性が私に寄せてくださった体験談です

「知人の紹介で、ひどい乗り物酔いをする高一の息子を北沢先生のところへ連れていきました。私は心身ともに健康でとくに困ったことはなかったのですが、ストレス解消になると思い、息

子と一緒にヒーリングを受けました。

息子は、たった三十分の施術一回で、十五年間苦しんでいた乗り物酔いが治ってしまいました。本当にありがたいと思いました。

それ以来、突発性難聴、アトピー、ウツなどで悩んでいる友人・知人に北沢先生を紹介しました。そのたびに私もヒーリングを受けていたのですが、ストレスが軽減され、また、周りに対する感謝の念が強くなったように感じています。さらに、普段見慣れているはずの街路樹の葉や、空に浮かぶ雲に感動し、自然の素晴らしさを再認識しています。

一番の変化は三度の食事より大好きだったビールについてです

私は毎晩一リットル以上ビールを飲んでいましたが、その量がストレスとともに徐々に減つていき、今ではまったく飲まなくなっていました。人が飲んでいてもとくに羨ましいと思わないので、居酒屋ではもっぱら烏龍茶です！

「絶対ビールがなくてはダメだ」

と執着していたのは錯覚だったのでしょうか？

仕事においても変化を感じています。

会議や人前で話すときは準備していた以上にうまく話せるようになります。仕事の大小

変さは変わりませんが、目の前の人や物事への集中力が高まっているようです」

「登校拒否を克服。成績もアップ」

（登校拒否・十代女性・高校生）

肩こりと腰痛に悩んでいた女性が、私の天啓気療で改善した後、娘さんについての悩みを打ち明けてくれました。

「毎朝校門に差しかかると急におなかが痛くなるらしくて、それで学校へ行くのがいやになって、今では不登校が続いているんです。このようなことも天啓気療で治るのでしょうか？」

私は次のように答えました。

「以前に、そういった方数人に天啓気療を施したことがあるんですが、皆さん学校に行けるようになりましたよ。ただなぜかは、まだ私にもよく理解できていないんですが……。まあ、絶対とはいえませんが、きっとあなたの娘さんも、学校に行けるようになると思いますよ」

それに対して女性は、不安げな顔つきでいいました。

「でも、そもそも学校にも行けないような子がここまで来られるかどうか……」

「それなら、あなたが休みの日に娘さんと一緒に来て、まずはあなたが天啓気療を受けている様子を見てもらったらどうですか。そのときに私が何気なく娘さんに話をしてみましょうか」

それから数日後、娘さんはお母さんに連れられて当院にやってきました。

娘さんは見るからに寂しそうな表情をしていました。そこで私が説得してみると、素直に天啓気療を受けてくれました。すると寂しそうな表情をしていた顔が徐々に晴れ晴れとしてきたのです。

二回目は、「天啓気療を受けると本当に気持ちになるからまた行きたい」と娘さんがお母さんに訴えて、自ら進んでやってきました。

三回目には、「だいぶ自信がつかってきました。これなら学校に行けるかもしれません」と喜んで帰っていきました。

その後連絡がなかったのですが、しばらくすると娘さんはお母さんと、それに妹さんと一緒に、当院に来られました。

「ご報告が遅くなつてすみません。あの日の翌日から、高校に行けるようになりました。勉強も前より落ち着いてできるようになって成績も良くなったんですよ。本当にありがとうございます」

娘さんはとても嬉しそうな表情でこう報告してくれました。私も一緒になって喜んでいたのですが、ふと気になり、妹さんに「なぜ一緒に来たの」と聞いてみると、
「私は身体や心に悪いところはとくにないんですが、登校拒否もしなくなったし、成績も良くなった姉を見ると、私も変わるんじゃないかと思って……」
ということでした。

【身体が楽になり、運命も向上】

（精神的うつ症・三十代女性・店員）

「離婚を経験していて、子供が二人います。再婚はまったく考えていないのですが、何人かの男性に交際を迫られ困っています。付き合ってくれないなら自殺するといって、本当に自殺してしまった人もいます。もう精神的に疲れ切ってしまったて、どうすればいいの……」

こう語った女性の症状は、「肩から背中にかけて、まるで人が三人くらい寄りかかっているかのように重く感じる」、さらに「胸が苦しくて息苦しい」というものでした。

さっそく一回目の天啓気療を施すと、腕がガタガタと勝手に動き出し、口を大きく開け

「ウォーッ」と叫びはじめ、涙が大量に噴き出たかと思うとそのまま大声をあげ泣き続けました。ところが天啓気療がひと通り終わると一転、すっきりした顔をして、

「肩から背中にかけての重みがすっかりなくなりました。胸の苦しみもまったくありません」
そういつて、喜んで帰っていったのです。

しかし、これで終わりではありませんでした。その晩、彼女のお母さんから私に電話が入ったのです。

「寝床にいる娘が大変なんです。身体は勝手に動くし、涙は出るし、大声を張り上げるし、いったいどうなっているんでしょう」

どうやら天啓気療中よりも激しく好転反応と思われる現象が出ているようでした。私は、「娘さんのように精神的な悩みを抱えている方は、そのようなことが起きる場合がよくあるんです。しばらくすれば収まりますから心配ありません」と何度か何度もなだめました。

彼女はその後、二回目の天啓気療を受けにきましたが、身体の動きや涙、大声は一回目よりさらに激しいものでした。それでも天啓気療が終了するとやはり、前回と同様、何事もなかったかのようにすっきりしているのです。これは後で聞いたのですが、その晩も好転反応と思わ

れる現象が、それも前回より激しく出たそうです。

そして三回目。このときの好転反応と思われる現象は眠気とだるさだけだったので彼女もほっとしていました。ちなみにその晩は何も起こらなかったとのこと。

四回目のときに、その後の状況を聞いてみると、

「さんさん私を悩ましてきた男性たちも不思議なくらい近づいてこなくなりました。その他にも、そんなことで悩まなくていいのにも思いますが、悩んでしまっていたことがいくつかあったんですが、それから解放されました。それから、仕事上のトラブルも解決して、思い通りに事が運ぶようにもなったんですよ。それともう一つ、周りから『笑顔が増えたね』なんてよくいわれるんです」

と嬉しそうに話す彼女は、はじめて会ったときよりずっと綺麗に見えました。

そうして五回目を終えると「もう大丈夫そうです。これなら安心して生活できそうです」と喜んで帰っていき、それ以来、来院はしていません。

ところで私は先ほど「綺麗に見えた」と書きましたが、これは何もこの方だけに限ったことではなく、天啓気療を受けると男女の別なく多くの方が、肌が美しくなります。心身ともに健康になれば、エステなどに行かなくても十分綺麗になれるものと、私は確信しています。

【家族の理解と協力によって苦しみから解放され、就職も決まった】

（解離性同一性障害・三十代女性）

精神的な悩みをお持ちの方以外に、解離性同一性障害（多重人格）が認められる方も、天啓気療を受けると激しい好転反応と思われる現象が現われる場合がありますので、あらかじめご家族のご理解を得ておく必要があると思います。たとえばお子さんが天啓気療を受けるのであれば、できればご両親も一緒に体験して、身をもって好転反応と思われる現象を理解してほしいと考えています。

さて、次の方は、お父さんからの依頼で診ることになった方の話です。

「私の娘なんですけど、二十歳前辺りからストレスを感じると、本人以外の七人の人格が現われるようになり、あるときは赤ちゃんのように振る舞ったり、またあるときは男性のような荒々しい言葉でしゃべりはじめたりするんです。よくわからないんですが、時と場面に応じて人格を変えているようにも感じるので」

そこで私はお父さんに、家族の理解が必要だということをお話してもらい、ご両親も一緒に

来院するように伝えました。

そうして連れられてきた彼女を見ると、まさに「私は悩んでいます」といったような深刻な表情を浮かべていました。この当時彼女はひきこもり状態で、就職しようにもできず困り果てていたのですから、当然といえば当然なのかもしれない。

彼女は、「自分以外の人格が出ないよう常に意識しているのだけれども、それでもどうしても出てしまうので、毎日が不安で不安でしょうがない」と嘆いていました。これまで西洋医学の精神科やカウンセリングを何度となく受け、催眠療法や氣功治療もやってみたものの、まったく改善しなかったそうです。

さっそく一回目の天啓氣療をはじめると、すぐに変化が現われてきました。彼女も、「何といったらいいかわからないけど、とにかく何かが変わってきているように感じる」と驚いていました。

この一回目の天啓氣療が終わった直後、彼女は倦怠感に襲われ、これまでさんざん悩まされてきた自分以外の人格が意識上に現われてきて困ったとのことでした。

二回目に来院したときには、この前の不安げな表情は影をひそめ、明るい顔つきになっていました。さっそくまた天啓氣療をはじめると、精神的に安定してきたのかだいぶリラックスで

きているようでした。これは後で知ったのですが、それでもその日家に戻ると、一回目のときと同様のことが起こり、戸惑ったそうです。

彼女はその後來院することはなかったのですが、しばらくするとお父さんからメールが届きました。私も彼女のことが気になっていたのですが、すぐに読むと、

「おかげさまで娘は普通の生活ができるようになり、念願だった就職も、当人の望んでいた介護施設に決まりました」

とのことだったので、ひとまず胸をなでおろしました。

【病気が気にならなくなったことが、とても嬉しい】

（精神的悩みやそれに伴う頭痛、不眠症など・二十代男性）

本書ではこれまで、病気の改善には家族の絆や愛が大切であると何度も述べてきました。そのことがよくわかる、ある方の例をご紹介します。以下はその方が書かれた体験談です。

「私は常々、頭痛に悩まされ、精神的にも相当参っていました。大きな音を聞いたり、尖ったもの（包丁やハサミや針など）を見たりすると、脳が刺されているように感じて頭が痛くなり、

私は本書の「まえがき」で、「本書の内容は、自分でも哲学的になり過ぎていると感じる部分が多々あります。たとえば、心のあり方や意識のあり方、自然の法則に即した愛など、考えてみればこのような事柄は、病氣や仕事などにはまったく関係がないように感じられます。ところが、私が治療を実施していく中で、この事柄が最も大事であると考えなければ納得や理解ができないことも事実です」と述べました。この事実には、一例として例外がありません。もしあなたが病氣などの悩みから一日も早く解放されたいのなら、是非、心のあり方や自然の法則に即した愛のあり方について思考していただき、その上で、現在まであなたが行なってきた行為やこれから行なおうとする行為が、果たして自然であるか、自然の法則に即した愛ある行為であるか、他の方々のためになる行為であるか、などということを常に確認することをお勧めいたします。心のあり方や、自然の法則に即した愛のあり方は、何事にも影響を及ぼします。だから、注意が必要なのです。

ところで、西洋医学の先進国であるイギリスでは昨今、スピリチュアル・ヒーリングという療法がクローズアップされ、実際に病院でも行なわれています。普通の内科的治療にするか、ヒーリングにするか、あるいは併用治療でいくか、基本的には患者自身の選択に任せられているそうです。またヒーラーになるための資格試験などもあり、患者にとって最も気になる医療保険なども適用されるというのですから、イギリスが医学の先進国といわれる所以も理解できます。日本の医療機関にも是非見習ってほしいものです。

スピリチュアル・ヒーリングでは、生体の肉体面に働きかけることなく、祈りや手かざしなどによって治療や癒しを施します。日本の病院ではまったくいいほど馴染みのない治療法です。もともとイギリス人の多くはキリスト教に帰依していることから、治療や癒しに祈りを用いることに対してさしたる抵抗を感じないのかもしれませんが、ちなみに、これはあまり知られていないことですが、キリストは、手かざし治療のバイオニアでもあるのです。

ところで、日本ではどうでしょうか。患者に対してヒーラーや手かざしについて語ろうものなら、「なんだ、エセ宗教か」「お前は馬鹿だ」「嘘つきだ」「人を騙している」などと罵声を浴びせられるのがオチでしょう。日本では「神の世界」や「目に見えない世界」などについて語ることは、タブー視されることが多いのです。したがって日本人がヒーリングを受け入れるに

は、まだまだ時間がかかりそうです。

しかし、皆様、よく考えてほしいのです。自分の目に見えるものだけがこの世に存在しているとは限らないのです。たとえば愛、喜び、怒り、哀しみ、楽しみ、苦しみ、のみならず、痛い、だるい、疲れる、しびれる、などを、「目には見えないから存在しない」という人はいないはずです。さらには、地球は宙に浮いていて、自転をしながら、とてつもないスピードで太陽の周りを飛ぶようにグルグル回っているということも、誰も見ていなくとも、確かな事象として、誰もが認めているのです。このような現実を考えてみれば、見えないからといってすべてを否定することは、できないのではないのでしょうか。このことを是非皆様にわかっていただきたいのです。

最後になりましたが、私は、人生とは、心のあり方の鏡であるといつも思っています。神社や神棚には、必ずといってよいほど、神鏡が備えられています。それは、神の御霊の美しさを表わすと同時に、誓いを立てる人々の心を映し出すためのものでもあるのです。

本書にも何度となく、意識的であろうが、無意識的であろうが、良きことであろうが、悪しきことであろうが、心の中に描いたことは現実になると述べてきました。要するに、現実に分の周りで発生する事柄はすべて、自分自身が望んでいたことにはかならないと解釈しなければ

ならないのです。ですから、何度も繰り返しますが、病気を恐怖と捉え、それを心の中に描いては、絶対にならないのです。

終わりに、出版に際し貴重なアドバイスをしてくださった東京大学医学部教授の矢作直樹先生と、作品を装画として提供してくださった千住博先生に心より感謝申し上げます。

二〇一三年四月

北沢勇人

【参考文献】

『人は死なない』矢作直樹著（バジリコ）

『人は死なない。では、どうする？』矢作直樹・中健次郎著（マキノ出版）

『チャクラ』C・W・リードビーター著、本山博・湯浅泰雄訳（平河出版社）

『病氣と治療』ルドルフ・シュタイナー著、西川隆範約（イザラ書房）

『チャクラの覚醒と解説』本山博著（宗教心理出版）

『いかにして超感覚的世界の認識を獲得するか』ルドルフ・シュタイナー著、高橋巖訳（イザラ書房）

『バイディジタル・オリンピックテストの実習』大村恵昭著（医道の日本社）

『快癒力』篠原佳年著（サンマーク出版）

【著者プロフィール】

北沢 勇人（きたざわ はやと）

昭和 25 年 7 月 25 日生まれ

昭和 49 年 職業訓練指導員 合格

昭和 55 年 一級建築士 合格

昭和 55 年 宅地建物取引主任者 合格

昭和 60 年 一級建築施工管理技士 合格

平成 5 年 会社の経営内容を改善するため、能力開発の目的で、身体の力が抜け、リラックス状態の時に出る脳波・アルファ波をいつでも出せるように瞑想や呼吸法などを続ける。その結果、突然強力な光を見る体験をして以来、病気を改善させたり、癒したりする力を発揮できるようになる。著書に、「天啓気療一病を改善し、魂を救済する、自然法則に基づいた愛のヒーリング」(現代書林)。「天啓気療の神髄—線維筋痛症に光をもたらす驚異の療法」(たま出版)がある。

福島県南相馬市原町区深野字宮平 117 番地の 1

TEL.0244-22-6823 FAX.0244-23-2672

東京都内にも開院 TEL.03-5211-8288

●ホームページを公開しています。(天啓気療とは)をキーワードに検索してご覧下さい。

本文 DTP・カバーデザイン／株式会社テイク・ワン

天啓気療とは

第一刷発行 二〇一三年五月六日

著者 北沢 勇人

編集人 祖山 大

発行人 松藤 竹二郎

発行所 株式会社 毎日ワズ

〒一〇一・〇〇六一

東京都千代田区三崎町三・一〇・二一

電話 〇三・五二一一・〇〇八九

FAX 〇三・六六九一・六六八四

印刷製本 株式会社 シナノ



©Hayato Kitazawa Printed in JAPAN
ISBN 978-4-901622-63-4
※丁・乱丁はお取り替えないいたします。